

令和 7 年度大阪大学大学院人間科学研究科
博士前期課程入学試験＜一般＞（秋期）出題の意図

試験 科目	専門科目 B (行動学系)	講座		研究 分野	
----------	----------------------	----	--	----------	--

（ 2 枚中の 1 枚目）

1. (基礎心理学)

実験心理学の各分野で必要な知識とそれを適切に記述する能力を有するかを確認する。

2. (基礎心理学)

研究分野において必要な心理学の知識を尋ねる問題である。

3. (応用認知心理学)

視覚的ディスプレイを使用した作業に影響を及ぼしうる要因について、根拠を述べつつ、関連する心理学的概念に言及しながら論述できるかを問う。

4. (応用認知心理学)

応用認知心理学の研究の中でしばしば用いられる基本的な専門用語・概念について理解しているかを問う。

5. (社会心理学)

社会心理学分野の代表的なテーマに関して、その英語論文を読解する力と実験を発案する力を確かめた。

6. (社会心理学)

社会心理学分野の基礎的な知識を有しているか確かめた。

7. (臨床死生学・老年行動学)

臨床死生学・老年行動学の研究を行うのに必要な英語力を評価するための問いである。

8. (臨床死生学・老年行動学)

臨床死生学・老年行動学で必要とされる基礎的な知識を習得しているのかを問う問題を設定した。

9. (環境行動学)

環境行動学の射程にある「生活環境学」、「環境工学」、「環境社会学」の専門用語や専門的な概念を的確に把握し、また具体例等を用いながら、事象の本質を捉えつつ論理的に説明出来るかどうかを評価することを意図して出題した。

令和 7 年度大阪大学大学院人間科学研究科
博士前期課程入学試験＜一般＞（秋期）出題の意図

試験 科目	専門科目 B (行動学系)	講座		研究 分野	
----------	----------------------	----	--	----------	--

（ 2 枚中の 2 枚目）

10.（環境行動学）

環境行動学の射程にある「生活環境学」、「環境工学」、「環境社会学」の専門用語や専門的な概念を的確に把握し、また具体例等を用いながら、事象の本質を捉えつつ論理的に説明出来るかどうかを評価することを意図して出題した。

11.（安全行動学）

ヒューマンエラーとともに、人間の不安全行動とされるリスクテイキングについて、その定義や発生過程について基礎的な知識を問うとともに、その抑止策という実践的な知識を問う問題である。

12.（安全行動学）

多くの先進国においては、未成年者の死因の第一位は不慮の事故である。子ども（15歳まで）の不慮の事故の件数は長期的に見ると減少傾向にあるが、それでも毎年300名を超える子どもが命を落としている。最も多いのは交通事故で、水難が続く。こうした概要を理解しているかを問う問題である。

13.（行動統計科学）

行動統計学研究分野において必要な統計学の基礎的な知識を問う問題である。

14.（行動統計科学）

行動統計科学研究を行う上で必要な多変量解析法的基本的な知識と、問題を発見しそれを解決するという基本的な研究能力を有しているか、さらに、それらを適切に記述する能力を有するかを確認する。

15.（比較行動学）

比較行動学や霊長類学における基礎的知識の理解を評価するために出題した。

16.（比較行動学）

比較行動学や霊長類学における基礎的知識の理解を評価するために出題した。

17.（認知行動工学）

健康行動に関する認知変容・行動変容に関連する基本的な概念を理解しているかについて問う問題である。

18.（認知行動工学）

健康行動の行動変容に関する理論的理解を問う問題である。